



國家圖書館編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

117

六月三日

可筆リ風の強く船
陸上を金じやうな顔と
鬼とを並べしとある
船かどの邊を走つて
六月三日
風も靜まり今日も
夕に赤き太陽の出
とハッキリ意識し
あつた。

六月四日

國家圖書館出版社



國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

117

第一一七冊目錄

昭和四年（一九二九）調查報告（第二十六期生）

膠濟鐵路及北平的長途汽車調查

膠濟鐵路及北平的長途汽車調查

岩井茂

第三十七卷

..... 一

南支沿岸都市調查

華南沿海城市調查

杉原信一

第三十八卷

..... 一三七

呼海鐵道ト沿線經濟事情

呼海鐵路及沿線經濟情況

若宮二郎

第三十九卷

..... 三〇三

南支港灣狀況調查

華南港灣狀況調查

牧野清

第四十卷

..... 三八五

綏遠、直隸羊毛羊皮（附奉天市場ノ羊毛）

綏遠、直隸羊毛羊皮（附奉天市場的羊毛）

前田增三

第四十一卷 四四七

山西省ニ於ケル村政ノ研究

山西省村政的研究

宮野茂邦

第四十二卷 六一三

昭和四年（中華民國十八年）

膠濟鐵路及

調查

北平の長途汽車

第廿六期生

岩井茂

序文

然等北支經濟調査班五名の者は今夏、五月三十日より六月
二十日の、約一月に渡り、青島より濟南・天津・北京・錦州・長
春の鐵道沿線地の調査旅行を爲した。自分の調査科目は
交通機關であり、交通の全般に渡つての調査を目的に今夏
の調査旅行をなしたのである。この短期間には本地帯の如き複雑
なる交通機關とその發達せる中國中東各經濟を支持するに
足る道途せる交通設備を有する交通全般に渡つての調査は
至難の事であり、余り広範圍に渡り過ぎて反つて満足なる結果は得
られぬと思つたので、本調査を山東鐵道と最近北京に於て著しい
發達を遂げてゐる長途汽車の二線について詳述し、以て本文
通機關の調査にかゆ。山東鐵道は民國十七年六月頃
末に於ける財政、經營、狀態を創設に詳しし。その他は主として青島

鐵道管理局調査統計によつた。尚本調査に費用せし資料は、

膠濟鐵路管理局發行の「膠濟鐵路の概況」。

要覽、

青島日本商業會議所刊行（昭和二年（一九一七）のオオ師團出兵の際、山東の實情を母國朝野に知らせるハシフレット、

左所發行の各種各樣統計。

北京 順天時報

大正十二年度調査報告膠濟鐵道調査。

青島守備軍民政部、鐵道部の大正十二年度調査、等
にふる。

等々

以上下述の膠濟鐵路の財政、運輸、狀態にふつて、支那中には
又比較的の經營と國際的の物果を受けて一地方的の各種の發展を

よりの毒牙より、兎此易い環境にある。本鉄路にして、かゝる要可
き不振の情態にありし事を思ひて、本路以外の一般支那各種鉄道
の経営状態なり。財政、運輸状態は固して、假へその同は環境に
よりて、小異あるは兎此推さる。中國の鉄道経営の大体の推定を
下すの一標準として、善し仕へないものと信ず。

一國の経済的發展はその面する鉄道の如何によりて、支拂せらるゝと云
ふは、現在唯一の運輸機關たる鉄道の価値と現在支那に於け
る鉄道の運輸業績とを考へ合はれるべきに、世界に於ける
支那の経済的地位につき、換言せば経済的發展の程度、世界の
経済的發展の系統を測定するの一根據を供せられざるを、兎此、

目次

✓ 第一章

山東鐵道

膠濟鐵道ノ沿革

✓ 一節

沿革

1頁—13.

✓ 第一節

創立の由來

14頁

✓ 第二節

日本の管理

2.

✓ 第三節

支那の組織

3.

✓ 第四節

移交後の日本との關係

14頁—21頁

✓ 第二章

經營組織

14頁—21頁

✓ 第一節

支那継承後の經營方式

15—16

✓ 第二節

膠濟鐵路の組織

16—19

✓ 第三節

管理局内の日本人職員

20—21

✓ 第三章

工務概況

21頁—36頁

✓ 第一節

通過把柄

21—22

第二款	施設工事	22	1	25
第三款	田地及停車場	25	1	31
第四款	線路の設備	31	1	33
第五款	繼承後の 營業及工事	33	1	36
第四節	營業狀態	37	頁	80 頁
第一節	運輸設備	37	1	42
第二節	運賃率及時間表・乗車賃銀表	42	1	51
第三節	營業經費	51	1	52
第四節	主要輸送貨物	53	1	54
第五節	運輸業績	55	1	80
第一項	貨客運輸成績表	55	1	57
第二項	過去の業績	57	1	57
第三項	獨立の管理代	58	1	59
第四項	日本の管理代	59	1	60

3 第三項 繼承後の資本額 60頁162頁

第二項 清算後の財産額 63頁164頁

第三項 営業阻害の要因 64頁

1. 第十項 貨物の軍事徴用 65頁167頁

2 第十一項、第十二項 第六次大戦に於ける鉄道貨物の計量

課税の種類と其の賦課率 67頁180頁

(附表) 膠濟鐵路局代理徴収税捐類別

収入表 75頁176頁

(附表) 清前青島商輸出入鐵道貨物運賃

並諸税捐負担表 77頁180頁

第五節 膠濟鐵路の財政

第一項 過去に於ける營業收入 81頁

第二項 支那繼承後の財政状態 81頁

第一類 各年度會計収支	第二類 營業収支の割合	第三類 資産価値の増加	第四類 財政管束の諸因	第五類 日本政府に対する利拂滞納	第六類 不定額のもの	第七類 結論
81頁1	85	87	90	99	100	110
81	85	88	98	100	108	108
84	86	88	98	100	108	108
81	86	88	98	100	108	108

第二章

北平の長途汽車（長距離乗合自動車）

第一節

長途汽車發生の原因

第二節

創設時における収入

第三節

通路

第四節

切符發賣所

第五節

長途汽車公站問題

第六節

長途汽車各種損耗

第七節

119	118	116	115	114	112
1	1	1	1	1	1
123	119	118	116	115	114

